

AutoCAD 2007

基礎・応用

● コマンドの実行方法

コマンドを実行するには、次の3つの方法があります。

- ・メニューバーからコマンドを選択する
- ・ツールバーのボタンをクリックする
- ・キーボードからコマンド名を入力する

コマンドを実行するとコマンドウィンドウに操作の指示が表示されます。その指示に従って操作していかないと図形が作成できないので、コマンドを実行したら必ずコマンドウィンドウを見ながら操作しましょう！

● コマンドの終了方法

コマンドは、自動的に終了するものと、自分で終了しなければいけないコマンドがあります。コマンドを終了するには、次の3つの方法があります。

- ・Enter キーを押す
- ・右クリックで表示されるショートカットメニューで [Enter] を選択する。(右クリックするだけで終了する場合もあります。)
- ・ESC キーを押す (コマンドの取り消し)

通常は、Enter キーか右クリックの方法を使います。ESC キーは、コマンドの取り消しをする方法なので、コマンドによっては、操作した内容全てが取り消されることがあります。

◆ メニューバーからのコマンド実行

メニューバーを使って [線分] コマンドを実行してみましょう。

- (1) メニューの [作成] から [線分] をクリックします。 
 - コマンドウィンドウに「_line 1 点目を指定:」と表示されます。
- (2) 作図領域の中で線の1点目 (線の始点) をクリックします。
 - コマンドウィンドウに「次の点を指定」と表示されます。 
- (3) 作図領域の中で線の2点目 (線の終点) をクリックします。
 - 線分が作成され、コマンドウィンドウには再度「次の点を指定」と表示されます。
 - 次の点をクリックすると再度「次の点を指定」と表示されます。
- (4) コマンドを終了するので、Enterキーを押すか右クリックで表示されるショートカットメニューで [Enter] を選択します。
 - コマンドが終了し、コマンドウィンドウには「コマンド:」と表示されます。

```
コマンド:
コマンド:
コマンド: _line 1 点目を指定:
```

```
コマンド:
コマンド: _line 1 点目を指定:
次の点を指定 または [元に戻す(U)]:
```

```
次の点を指定 または [元に戻す(U)]:
次の点を指定 または [元に戻す(U)]:
コマンド:
```

◆ ツールバーからのコマンド実行

ツールバーを使って [線分] コマンドを実行してみましょう。

- (1) ツールバーの  [線分] をクリックします。
- (2) 作図領域の中で線の1点目 (線の始点) をクリックします。
- (3) 作図領域の中で線の2点目 (線の終点) をクリックします。
- (4) Enterキーを押すか右クリックでコマンドを終了します。

◆ キーボードからのコマンド実行

キーボードからコマンド名を入力して [線分] コマンドを実行してみましょう。

- (1) キーボードから「line」と入力 (コマンドウィンドウに「line」と表示されます) しEnterキーを押します。
- (2) 作図領域の中で線の1点目 (線の始点) をクリックします。
- (3) 作図領域の中で線の2点目 (線の終点) をクリックします。
- (4) Enterキーを押すか右クリックでコマンドを終了します。

～～ AutoCAD 応用 ～～

11 テンプレートファイルの作成 (単位、画層、文字スタイル、寸法スタイル)

◆テンプレートファイル

AutoCAD 2007 で図面を作成するには、さまざま設定をする必要があり、そういった設定を新しく図面を作成するたびに行っていたのでは大変なので、設定を保存したテンプレートファイルを作成し、テンプレートファイルをもとに図面を作成していきます。

テンプレートファイルでは、次の設定を行います。

- ・単位の設定 ・画層の作成 ・文字スタイルの設定 ・寸法スタイルの設定
- ・図面範囲の設定 ・図面枠の作成 ・尺度の設定

★新規図面を開きましょう。

11-1 単位の設定

●単位管理

[単位管理] コマンドでは、図面で距離や角度を計測するときの表示形式・精度を設定します。

メニュー	[形式] → [単位管理]
コマンド	ddunits (un)

◆単位の設定

長さのタイプを「十進表記」、精度を「0.00」、角度のタイプを「度 (十進表記)」、精度を「0.00」に設定しましょう。

- (1) [単位管理] コマンドを実行します。
→ [単位管理] ダイアログボックスが表示されます。
- (2) 長さの [タイプ] で「十進表記」を選択し、[精度] で「0.00」を選択します。
- (3) 角度の [タイプ] で「度 (十進表記)」を選択し、[精度] で「0.00」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

※表示精度について

選択する表示精度は、必要とする精度よりも2桁程度多く設定します。例えば距離計算を行った場合の結果は、表示されていない小数点以下の桁は四捨五入されてしまいます。そのため、実際の数字と表示されている数字が違っていても分からない場合があります。こういった微妙なズレを発見しやすくするために、桁数を多く設定します。ただし、寸法の表示精度は、[寸法スタイル管理] で別に設定します。



◆テンプレートファイルとして保存

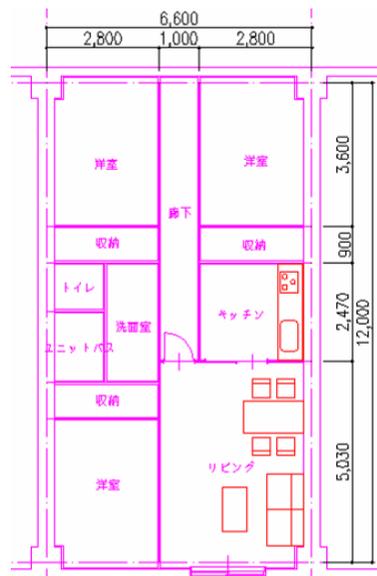
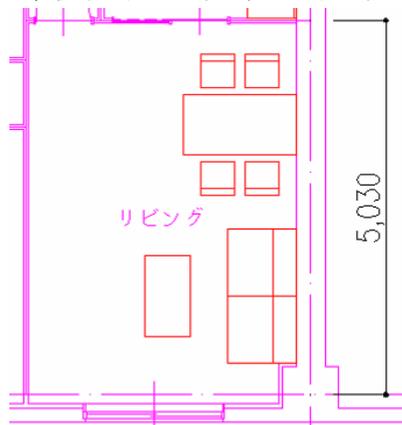
ファイルをテンプレートファイルとして保存しましょう。

- (1) メニューの [ファイル] から [名前を付けて保存] コマンドを実行します。
→ [図面に名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。
- (2) テンプレートファイルとして保存するので [ファイルの種類] を「AutoCAD 図面テンプレート (*.dwt)」を選択します。
→ [保存先] が [Template] に変わります。
- (3) [保存先] を「3.5インチFD」に変更します。
- (4) [ファイル名] に「TEST」と入力し [保存] ボタンをクリックします。
→ [テンプレートの説明] ダイアログボックスが表示されます。
- (5) [説明] に「テストファイル」と入力し、[OK] ボタンをクリックします。

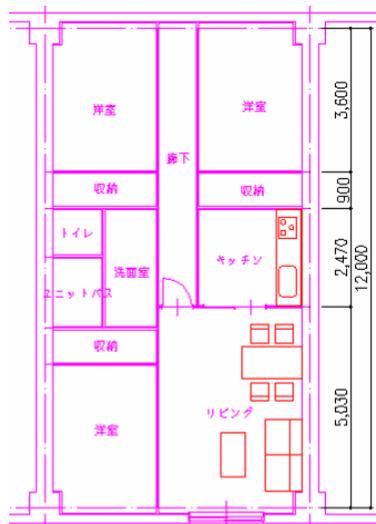
◆寸法の記入

右の図のように寸法を記入しましょう。

- (1) 画層を「sunpo」に変更します。
- (2) メニューの [寸法] から [長さ寸法記入] コマンドを実行し、以下の図のように長さ寸法を記入します。



- (3) メニューの [寸法] から [直列寸法記入] コマンドを実行し、以下の図のように寸法を記入します。
- (4) メニューの [寸法] から [並列寸法記入] コマンドを実行し、以下の図のように寸法を記入します。



- (5) 残りの寸法を記入します。

◆ハッチングの記入

右の図のようにリビングにハッチングを記入しましょう。

- (1) 画層を「hatch」に変更します。
- (2) 画層「ki jun」の💡をクリックし、画層を非表示にします。
- (3) メニューの [作成] から [ハッチング] コマンドを実行します。
- (4) [パターン] ボックスで「ANSI31」を選択し、[角度] ボックスに「45」と入力し、[尺度] ボックスに「50」と入力します。
- (5)  追加点をクリック をクリックして、リビング内をクリックし、Enterキーを押すか右クリックします。
- (6) [プレビュー] ボタンをクリックして確認し、問題が無ければ [OK] ボタンをクリックします。
- (7) 画層「ki jun」の💡をクリックし、画層を再表示します。
- (8) ファイルを上書き保存します。

